

# 原発の電気が一番安いと言われる理由<sup>わけ</sup>

～原発のコストや総括原価方式のからくりを知ろう！～



【日 時】 2017年4月28日(金)

10時30分～13時

【会 場】 九州ビル9階大ホール

主催:グリーンコープ共同体 ・ 一般社団法人グリーン・市民電力

## 【 開 催 趣 旨 】

福島第一原発事故を契機に、「自分たちの使う電気は、自分たちでつくろう」と踏み出したグリーンコープは、2016年7月から電気の小売り事業をスタートさせました。このように私たちグリーンコープが「電力やエネルギー」という未知の世界に足を踏み入れた結果、今まで気が付かなかった様々な問題と向き合うことになりました。

その一つが電気料金の約1/3を占めるという「託送料金」。その中に原発由来の費用が含まれていることが分かりました。このことは、原発フリーの電気の小売事業を行うグリーンコープにとっては問題です。それだけではなく、電気料金のベースとなっている総括原価方式のこと、そしてそもそも原発コストとは、など底なし的に難しい疑問にぶつかっています。

このようなとても難しい原発コストやそのからくりなどを専門とする大島堅一教授の話を聴き、原発に関するいろいろなからくりなどをきちんと知った上で、原発のない社会の実現をめざして、私たちにできるアクションにつなげていきたいと考えます。

### ……プ ロ グ ラ ム……

10:30	開会	進行 柴田 典子 (共同体組合員事務局)
	開会の挨拶	
	グリーンコープ共同体代表理事	熊野千恵美
10:35	講演	「原発の電気が一番安いと言われる理由」 ～原発の本当のコストや 総括原価方式のからくりを知ろう!～
	講師	大島堅一さん (龍谷大学教授)
12:30		
	質疑応答	
12:50		
	グリーンコープからのアピール	
	グリーンコープ生協ひょうご理事長	山本 陽子
12:55		
	終わりの挨拶	
	グリーンコープやまぐち生協理事長	佐々木春代
13:00	閉会	



### 【大島堅一さんプロフィール】

経済学博士。2017年4月から龍谷大学政策学部教授。専門は環境経済学、環境・エネルギー政策論。大阪府市統合本部特別参与。2011年の福島第一原子力発電所事故後、経済産業省総合資源エネルギー調査会基本問題委員会委員、内閣官房国家戦略室エネルギー・環境会議コスト等検証委員会委員、同需給検証委員会委員などを務める。最近は、再生可能エネルギーの普及政策に力を注いでいる。

著書：「原発のコストーエネルギー転換への視点」(岩波新書=2011年大佛次郎論壇賞受賞)、「原発はやっぱり割に合わない」(東洋経済新報社)、再生可能エネルギーの政治経済学 エネルギー政策のグリーン改悪に向けて」(東洋経済新報社)、他、共著多数

